

なかよし・けんこう・どりよく

天見小校長室だより 4月号

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

令和7年4月8日
天見小学校

学校長あいさつ

今年度も天見小学校で勤務できることが決まり、大変うれしく思っています。赴任して3年目になります 杉田 京子 と言います。どうぞよろしくお願いいたします。

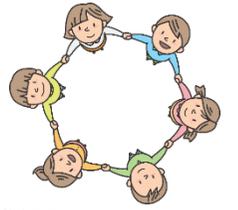
天見駅を降りたところにある駅の待合室に置いてあるお座布団の温かさからも感じるように、天見の里はとても温かい「自然や人」とのつながりがあります。私は、小学校への登下校の四季折々の花や緑の色にも、小学校から見える山々の景色にも、すべてに息吹を感じ、体に力が湧いてくるような気持ちになり、元気になれるこの天見の里が大好きです。何より、出会う人との挨拶でつながる穏やかな笑顔が一番に温かく、天見の自然とともに、地域の温かさがとてもとても好きなのです。そして、少人数だからこそ子どもたちの絆の深さを肌で感じ、この天見の地で、心優しく、そしてまっすぐに育っている子どもたちが本当に愛おしく感じます。

昨年度は、遊歩道に天見小学校の子どもたちの絵を民生児童委員の方々が飾ってくださいました。絵を飾ってくださったことで、天見小学校に通っている子どもたちの学びの姿がしっかりと浮かび上がり感謝しています。と同時に、地域の方にも、「遊歩道が明るくなった。」と子どもたちの絵で、元気をもらってくださっていることにありがたく思いました。地区に住んでいる子どもたちだけではなく、他地区より通っている子どもたち全員を愛おしいと感じて下っている地域の方には感謝しかありません。そして、地域の方が思ってくださいしている以上に、子どもたちも天見小学校を故郷として愛してくれているように感じています。子どもたちの約70%が他地区よりこの学校を選び入学してくれてきています。天見小学校を選ばれた理由は様々でしょうが、この地がとてもいいところだということはすぐにわかっていただけるでしょう。自然豊かな山間の小さな学校ですが、だれしものびのびとし、自分を出すことができやすい環境の中、子どもたちはまっすぐに育っています。もちろん、ときどきには、ケンカすることも傷ついたりすることもあるでしょう。でも温かいつながりの中で、みんながそれぞれの課題を克服して卒業の日を迎えていると思うのです。天見地区に住居を持たなくても、この地、天見を愛し、天見小を母校と慕って運動会やオープンスクール、クリスマス会などに足を運んでくれている卒業生。昨年度から始まった天見フェスティバルにも多数参加させていただき、天見小学校の存在が、町の活性化にも一役でも二役でも担えればいいなと思います。小学校と地域と保護者と、三位一体で子どもたちの成長を見守れるこの地は、正に理想郷と言えるのではないのでしょうか。素晴らしい環境の中で教育出来ることへの感謝と、子どもからもらう様々な感動を日々感じながら、子どもたちの感性を豊かにしていきたいと考えています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。微力ではございますが、教職員一丸となって子どもたちをいつくしみ育てていらっしゃる保護者の皆さま、子どもたちのために様々な形でエールを下さっている地域の皆さまと、手を携え力を合わせていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。新入生9名、転校生3名を新たに迎え、計67名で創立136年目の春をスタートします。

学校教育で大切にしていきたいことは、昨年度と変わりありません。

学校運営目標

- 『学校教育目標』
なかよし・けんこう・どりよく
～知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成～
- 『めざす学校像』
人の温かみを感じられる学校
(地域と保護者と学校と) みんなで笑顔と元気を作り出せる学校



- 『めざす子ども像』
[あ]…あいさつ [ま]…まなびあい [み]…みとめあい ができる子に！

- 『めざす教師像』
「三感王をめざせ！」…子どもたちが「感性・感動・感謝」の三タイトルを勝ち取れるように！
感性…子どもたちが、物事を一つの方向から見のではなく、固定観念や先入観にとらわれず、自分の目で見て自分の心で深く考えようとする人になれるように。そのために、本物とたくさん出会い実感すること、経験や体験を、失敗を恐れず積み重ねることを大切にできるように。
感動…本物に触れたときの感動、頑張れたときの感動、成し遂げられたときの感動、たくさんの感動を心に刻み、自己肯定感をあげていけるように。
感謝…さらにはそれらを与えてくれた全てのものに感謝の心を持ち、感謝の心を伝えられる子になれるように。

入学式・始業式

4月4日(金)、本校で入学式を開催しました。男子3名、女子6名、計9名のかわいい一年生を迎え入れることができました。背筋をピンと伸ばし、先生のお話をしっかり聞いた9名の一年生。キラキラと輝いた目が印象的でした。入学式では、次のようなお話をしました。(概要版)
今年度は「やるき・優木(ゆうき)・げんき」を6年間で大きく育ててください。」という話をしました。



- ①やるき…「やってみよう。」「頑張るぞ。」「きっとできるよ。」という気持ちをいっぱい育ててください。みんなのやるきを感じると、木はどんどん大きくなります。
- ②ゆうき…この「ゆう」は漢字で表すと「優」という字です。友達へのやさしさをいっぱい育てて、木に花たくさんのを咲かせてほしいと思います。
- ③げんき…どんなときにも元気はすべての元になるものです。体も心も健やかに育ててほしいと願います。元気が育つと、木の幹がどんどん太く丈夫になってきます。
1年生の終わりには、高さは約120cmくらいに、6年生卒業するころには、約150cmくらいに大きく育ちます。大人になったらもっと大きくなります。校長先生もまだ「やるき」「ゆうき」「げんき」を育て中です。この3本の木を心で、一緒に育てましょうね。

始業式では、この言葉を皆さんに伝えました。私が大好きな言葉です。「一生懸命がかっこいい!」いつも前向きに真面目に頑張れる皆さんだからこそ、この言葉を送りたいです。そして、1年生にお話しした「やるき」「ゆうき」「げんき」に、「ほんき」と「こんき」をしっかりと育ててほしいと2～6年生にはお話ししました。

- ④ほんき…何でもやるときは一生懸命にやるのが大切。
- ⑤こんき…最後まであきらめず粘り強く頑張ったからこそ、身につきます。
今年も、お互いの頑張りを認め合いながら、一生懸命みんなで頑張っていきましょう。